



水井 清光 議員

原町区駅前 整備について

問 JR原ノ町駅前広場整備について、平成12年度から平成28年度の計画が示されており、計画が経過と今後の方針について伺います。

答 これまで福島県、JR東日本、南相馬警察署、駅前商店街、地権者などの関係機関と協議、調整を重ねながら、用地取得、エレベータ設置、駅トイレ改修、駅前交番建設などを行ってきました。駅前整備については、福島県が整備する街路事業、駅前北原線の現道敷地を利用することから、福島県が整備する駅前北原線の進捗に合わせ、今後関係機関との協議、連携を計り、一体的な整備を図ってまいります。



原町区環状1号線

- その他の質問**
- ① TPPの発効に伴う本市農業への影響は
 - ② 小・中学校の教育力の向上は
 - ③ 南相馬市の特色ある教育とはなにか

質問を終えて
原ノ町駅は南相馬市の顔の一つであり、確実な整備を願うものです。

問 結する、東ヶ丘公園と駐車場の今後の事業の進め方を伺う。

答 環状1号線は、平成28年度の完成を目指している。福島県が整備する広域東ヶ丘公園は環状1号線をアクセス道路と位置づけており、用地取得が出来たことから、平成28年3月から駐車場整備、芝生広場、園路工の整備工事を予定しております。

問 東ヶ丘公園は災害時の避難場所との位置づけとされており、また、市民の公園として使用できるように、福島県に早急に要望する。

答 環状1号線の一番南側が東ヶ丘公園に隣接している。市の今後の避難所、また、市民の公園として使用できるように、福島県に早急に要望する。



竹野 光雄 議員

フローアアップ 除染の対応は

問 20キロ圏内の除染について、高線量の地域は、一定程度宅地周リ等も進めて来た経過はありますが、線量が下がらず、心配している住民の方々の思いにどう対処するのか伺う。

答 事後モニタリングの結果、除染効果が維持されず空間線量率に影響を与えているような箇所が確認された場合、現場の状況に応じて合理性や実現可能性を判断し、対応していく。

問 現場の状況に合わせて、モニタリングの結果によって再除染するとの事だが、市民に直接説明できる内容が必要であり、今後個々人が納得できる対応が必要だが、今後の対応について伺う。

答 雨どい下等についてはどうしても除染後のモニタリングの数値



再除染を求める一時保管場（小高区西部地区）

- その他の質問**
- ① 避難指示解除の見通しと受け入れは
 - ② 解除と賠償をリンクさせない考えは
 - ③ 離農者の増加に伴う農地の維持は

質問を終えて
避難指示の解除については、今月2月中の判断予定で、今後の生活設計が、重要となる。

問 被災地域では、狩猟者の拡充が必要であり、狩猟者の増員を計るうえからも、練習施設の射撃場の設置が必要と考えますが今後の取組みについて伺う。

答 被災地域では、狩猟者の拡充が必要であり、狩猟者の増員を計るうえからも、練習施設の射撃場の設置が必要と考えますが今後の取組みについて伺う。

問 よりも高くなっている傾向があり、除染効果が維持されていない事があり、フローアアップの中で進めて行きます。

有害鳥獣対策について

答 捕獲隊養成には必要との意見等はありませんが、捕獲隊の皆さんには他の地区で技術を磨いていただいておりますので、今後の検討課題とは思いますが、現段階ではその状況に至っていないと考えています。

一般質問



渡部 寛一 議員

解除前にやるべき 大課題あり

問 除染完了の進捗に疑問がある。

答 完了は、業者から環境省に完了報告があったことではない。住民に除染前後の線量を含め報告され、了解されて終了だ。大半の住民に報告が無いまだ。

問 地権者が確認する事が大事だ。早急に送るよう要請していく。

問 0.23 μ Sv/時以下を目標とした除染を、今になって環境省は20 mSv/年、言わば12 μ Sv/時以下で解除するとしている。許していいのですか。

答 1 mSv/年以下を目指して国に要請する。

解除前にヨウ素剤を

問 20 km圏内に避難指示が続いていたのは、核燃料棒再臨界等による大事故が起きる可能性があるからだ。それはまだまだ続きます。



甲状腺がん予防の安定ヨウ素剤

がん検診受診率向上を

問 死因トップのがんは増え続けています。がん検診受診率の向上ががん死亡率の減少になり、早期発見では怖い病気ではないと言われています。

答 県内の受診率データで南相馬市は低位にあります。市あげて受診率を引き上げましょう。

問 調整ではなく、年度内に配布を実現してください。

答 受診率向上に向けて、体制の充実強化を図っていく。

質問を終えて

「再稼働前のめりの自民党に巨額の原発マネー献金」の質問に、「憤り」と市長答弁。

その他の質問

- ① 原発再稼働を許すな。市長の見解は
- ② 働き続けられる南相馬市に



田中 一正 議員

本市の 有害鳥獣対策は

問 水稲の作付けが増えることによってイノシシの被害が増えている。未然防止の対策は。

答 有害鳥獣の目撃情報や捕獲頭数の多い集落を対象に平成25年度から大規模防止侵入柵を設置し、農作物への被害防止に努めている。

問 有害鳥獣捕獲隊の増員や狩猟免許を持たない補助者の活用について伺う。

答 補助者の活用については講習会を受講した者が狩猟免許取得者の監督の下、罟の設置の補助や点検等を行うことができる。必要に応じて猟友会と協議していく。

問 捕獲された動物については埋設により処理されているが、処分場所の確保が問題と伺っている。今後、焼却や減容化施設等の処



建設中の有害鳥獣焼却炉 (相馬市)

問 置の考えを伺う。

答 原子力事故に係るものであることから、国が責任を持って対応するよう要望している。

問 毎年1千500頭近くのイノシシや猿も200頭近く捕獲され、埋設している。埋め続けていけるのか。

答 埋設地域からも焼却の要望や埋設物のすべての処分を望む要望を強く出されている。

問 相馬市において捕

質問を終えて

ためぎ、きつね、イノシシ、猿、ウサギ、キジ、アライグマ、ハクビシン etc. 本市は自然動物園と化してしまった。

その他の質問

- ① 交通渋滞緩和対策は
- ② 高齢者の安全確保は
- ③ 飯館村との相互協力は